

平成23年11月16日
北九州市建築都市局

コムシティ再生計画（骨子案）に対する市民意見の内容及び市の考え方

「コムシティ再生計画（骨子案）」に対する市民意見募集に貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。皆様から提出された意見の概要及びこれに対する市の考え方を次のとおり公表いたします。

なお、ご意見は一部要約又は分割して掲載しましたのでご了承ください。

1. 募集期間

平成23年9月12日～10月12日

2. 意見募集の状況

○ 提出者数と意見数	50人・117件	
○ 提出方法	電子メール	26人
	手紙・郵送	12人
	その他（持参、FAX）	12人

3. 提出された意見の内訳

(1) コムシティ再生計画（骨子案）に対する意見	57件
(2) 入居施設に関する要望・提案	33件
(3) その他（駐車場、施設の改修等）	27件

4. 主な意見と市の考え方

別添のとおり

5. 公表文書の入手方法

(1) 閲覧又は配布

建築都市局都心・副都心開発室（市役所14階）

市民文化スポーツ局広聴課（市役所1階）

各区役所総務企画課

(2) 北九州市ホームページ（www.city.kitakyushu.lg.jp）

問い合わせ先

北九州市建築都市局都心・副都心開発室

〒803-8502 北九州市小倉北区内1番1号

TEL 093-582-2502 FAX 093-582-2694

提出された意見の概要及びこれに対する本市の考え方

番号	意見の概要	本市の考え方
1. コムシティ再生計画(骨子案)に対する意見		
(1) 計画全体について		
① 「公共公益施設を中心とした複合型施設」として再生し、「人づくり支援・広域行政サービス拠点」に生まれ変わることは、八幡西区民としてとても嬉しい。		<p>新生コムシティは、本市西部地域の中核にふさわしい中心市街地の活性化につながることを念頭に置き、黒崎に人が集まり、交流を活発にする人づくり機能と、暮らしを支援する広域行政サービス機能の充実により、黒崎の賑わいに貢献する施設として、一日も早く再生していきたいと考えています。</p>
② コムシティを、複合公共施設として再生することは望ましいと思う。一日も早く開庁してほしい。		
③ 借り手がない以上、市の施設を入れて再生させるしかないので、計画の内容には賛成である。		
④ 今の区役所、ハローワーク、西部障害者福祉会館、生涯学習センターは立地的に不便である。移転によりアクセスが良くなる。	<p>交通アクセスの良い黒崎駅横への移転により、市民の利便性が向上し、各施設の利用者増加につながると考えています。</p>	
⑤ 再生計画(骨子案)に反対である。夢がなく、市職員の利便性が高まるだけで、改修工事費も高すぎる。ビルを丸ごと英語しか通用しない仮想外国としてはどうか。	<p>再生計画(骨子案)は、黒崎のにぎわいづくりや市民の利便性向上、早期再生の実現などを念頭に置いた内容であり、ご理解賜りたいと考えています。</p>	
⑥ スポット的な計画で、黒崎地区の再生という視点で計画されたものとは考えづらい。その場だけの計画にならないよう、10年15年先の実像を予測しながら考えてほしい。	<p>国から認定を受けた中心市街地活性化基本計画やコンパクトなまちづくりの実現を勘案し、将来の黒崎のまちづくりを念頭に置いた計画内容と考えています。</p>	
⑦ コムシティを環境、健康、少子高齢化対策、教育文化、医療、福祉、雇用のための拠点施設として活用し、各フロアごとでゾーン分けしてほしい。	<p>施設配置については、黒崎のにぎわいづくりや市民の利便性向上の視点から、検討していきます。</p>	
⑧ 黒崎駅に直結する3階フロアは、市民が集える憩いの空間とし、低～中層ゾーンは、区役所などの公共施設などの市民サービスに配慮した計画してほしい。		
⑨ 利用者にわかりやすい施設構成を目指して欲しい。区役所は1～3階に設置し、3階に窓口部門を設置してほしい。		

(2)「人づくり支援機能」について

① 子どもから高齢者までの交流の場とするなら、「人づくり」という名前はわかりにくい。「癒しの館」として構成を再検討してはどうか。	子どもや青少年、成年や高齢者に至るまで、世代を問わず、多くの市民の方に利用していただけるよう、具体的には、生涯学習センターの機能に加え、NPO法人などの団体の活動スペースの設置、子どもの一時預かり機能や青少年の育成支援機能の充実を中心に検討していきたいと考えています。
② 高齢者が集まれる場所(温泉センター、サロン、ボランテアによる安いランチの提供等)	
③ 博識者(高齢者)の館(子どもの館と交流させてはどうか)	
④ 年長者や、若いお母さんと子どもが集えるスペースを確保して欲しい。	
⑤ コムシティへの交通の利便性に配慮すれば、行動力や冒険心の高い若者をターゲットにした施設を配置してはどうか。	
⑥ 中高生などの若者のための娯楽施設	
⑦ 小中学校、高校の生徒が中心となった模擬店(高校生レストラン等)	

⑦については、市内の高等学校では、すでに同様の取組を学校独自の方法で行っているところもあり、また、小・中学校ではキャリア教育の一環として地域の商店街等と連携した職場体験を実施しています。このような取組をコムシティで実施するためには、衛生面の指導体制、生徒の移動のための交通手段などの検討課題が多く、実施は困難と考えています。

ア 子どもの館について

① 子どもの館に保育園と幼稚園を併設し、夜間保育を実施してほしい。	「子どもの館」の拡充については、子どもの一時預かり機能や相談機能、青少年の健全な育成支援機能などの付加を念頭に検討していきます。なお、保育所については、園庭や採光の確保など施設としての必要な基準があり、幼稚園についても、設置基準に園庭の面積等の規定があるなどの課題がありますが、引き続き検討していきます。
② 子どもの館に子ども就労・おけいこ事体験施設を設置してはどうか。また、幼稚園を誘致してはどうか。	
③ 子どもの館の移設により最上階にスペースを確保し、保育所・託児所を開設してはどうか。	

イ 八幡西生涯学習センターについて

① 八幡西生涯学習センターの移転をぜひお願いしたいが、茶室の設置や会議室兼作業室など機能拡充を図って欲しい。(複数)	設置する機能については、施設内容や市民のニーズなどを勘案し、検討していきます。
② 生涯学習センターの郷土資料室も、郷土資料館として移設してほしい。	
③ 利用料金は上げないでほしい。	施設内容や拡充する機能に併せて検討していきます。
④ 生涯学習センター移設の際、大池こどもと母の図書館を今の場所に残してほしい。	八幡西区の図書館、分館のバランス等を考慮して、施設の改廃について検討していきます。

ウ 西部障害者福祉会館について

① 視覚障害者が自力で行くには、現在の西部障害者福祉会館は不便で危険である。西部障害者福祉会館の移転はぜひ実現して欲しい。(複数)	ご要望の趣旨は真摯に受け止めており、今回の骨子案において施設候補としたものであります。
② 市民の障害者への理解が深まるよう、障害者が働くカフェ、ベーカリー、店舗を構えて欲しい。また、発達障害等の小中学生のための「しごと体験館」ができることを期待したい。	現在地よりも、交通の便の良い場所への移転であり、移転後の施設内容については、今後検討していきます。
③ 点字図書館やビデオライブラリの移設は望ましいが、人や車が多い駅前では、施設を利用する子どもにとって安全面で不安があるので、今の場所に、障害児童の自立訓練や関連団体の活動ができるよう、一部機能を残してほしい。(複数)	移転後の現施設の活用については、今後検討していきます。

(3)「広域行政サービス機能」について

<p>① 人づくり支援機能よりも、必要な行政機関等(八幡西区役所、ハローワーク八幡等)を入れて欲しい。</p>	<p>“広域行政サービス”機能の充実、交通ターミナルを有するという、コムシティの立地上の強みが活かされ、市民生活の利便性向上につながると考えています。また、小倉都心と差別化した賑わいづくりを図るためには、“人づくり”機能の充実も必要と考えています。</p>
<p>② 西区役所の移転には賛成である。</p>	
<p>③ 西区の拠点である黒崎商店街の流れを考えると、区役所、保険所等を入れてほしい。</p>	
<p>④ 官庁機能の移転、集約は黒崎地区の活性化に効果があり、賛成である。</p>	
<p>ア 八幡西区役所について</p>	
<p>① 区役所を新しくつくるよりも、既存の建物に入れることは良いことだと思う。</p>	<p>“広域行政サービス”機能の充実、交通ターミナルを有するという、コムシティの立地上の強みが活かされ、市民生活の利便性向上につながると考えています。</p> <p>コムシティの駐車場出入口の改善については、よりわかりやすく出入庫できるよう、運転者や歩行者の安全性や、国道3号への影響を考慮しながら、検討していきます。</p> <p>平日のにぎわいづくりは「広域行政サービス機能」が、土日や夜間のにぎわいづくりについては「人づくり支援機能」が、それぞれ貢献することで、商業機能と相まって、昼夜、土日を問わず、常に人が集い、にぎわう施設になるものと考えています。</p>
<p>更なる渋滞や事故の増加、駐車場出入口のわかりにくさを考えると、区役所の移転には反対である。仮に移転するのなら、現在の区役所の場所又は旧厚生年金病院跡地に、住民票等を自動で受け取ることができる機械を設置してほしい。</p>	
<p>③ 駐車場への進入しにくさを考えると、3号線に渋滞を引き起こし、市民のための行政サービスにならない。八幡西区役所は現地で建替えてはどうか。</p>	
<p>④ 区役所等の移転計画に反対である。区役所の老朽化を解決と黒崎の再生は別の問題である。駅前の建物を夜間閉鎖させるのはもったいない。</p>	
<p>イ ハローワークについて</p>	
<p>① 今のハローワークは、バスの便が悪いので、移転するのは良いことだと思う。</p>	<p>黒崎駅横への移転により、市民の利便性向上につながると考えています。</p>
<p>② ハローワーク入居により駐車場が混雑することを考えると、コムシティには誘致しない方が良いのではないかと。</p>	<p>コムシティの駐車場は、800台以上の駐車が可能であり、現在のハローワークの駐車場に比べて、十分な台数を確保しています。</p>

(4)商業機能について

<p>① 商業機能に導入する業種は、地元商店街と相乗効果が得られるようなものとし、中心市街地活性化に連動するような仕組みを提案してほしい。</p>	<p>にぎわいづくりの観点から、商業機能は必要と考えていますが、業種などについては、地元の商店街などに配慮するとともに、連携策等を検討していきたいと考えています。</p>
<p>② コムシティで成り立つ商業施設があるなら、商店街の方に入れた方が良い。</p>	
<p>③ 商業機能は、商店街と競合しないよう、低価格の大量販店にするほうが望ましい。</p>	
<p>④ 井筒屋との連携が必要である。</p>	
<p>⑤ 大型商業施設ではなく、地域住民やNPO、商店街と連携し、住民参加型の運営を図ることが重要だ。そうすれば持続的に利益を生む仕組みとなる。</p>	
<p>⑥ 商業施設は慎重に検討したほうが良いのではないかな。</p>	
<p>⑦ 商業施設の賃料設定にあたっては、周辺商業施設に配慮し、民業圧迫にならないようにしてほしい。</p>	
<p>⑧ 商業施設は、3年間は安い賃借料に設定し、市政だより等で一般公募によるコンペ方式で業者を探してはどうか。</p>	<p>業者選定や賃料など商業機能運営に関する具体的な事項については、慎重に検討していきます。</p>
<p>⑨ やる気がある店舗、施設を優先的に入れてはどうか。</p>	
<p>⑩ 人を呼び込むためには、再度魅力的な店舗を呼び、大型商業施設とし、夜間まで建物を開放し、人の流れを作るべきである。</p>	<p>黒崎地区周辺の商業環境などを勘案すると、大型物販施設ではなく、市民の利便性向上につながる業種・業態などを念頭に置いて検討していきます。</p>
<p>⑪ 商業施設は20代半ば～30代を対象とした大型雑貨店やアウトドアショップ等が良いと思う。(複数)</p>	

2. 入居施設に関する要望・提案

① 八幡年金事務所(複数)	誘致候補に挙がっていない施設についても、広域行政サービス拠点の充実につながる施設については、国・県などの意向を把握しながら、検討していきます。
② 税務署	
③ 郵便局(複数)	
④ 市民活動サポートセンター(認可事務もできるもの)	ご提案の施設を含め、人づくり支援機能の充実につながる施設については、検討していきます。 ボランティアセンター(社協)については、現在は区役所と離れていますが、他区は、区役所内に入居または隣接していることから、区役所機能と一体となることで、市民サービスの向上が期待できることを踏まえて、検討していきます。 教育センターについては、コムシティでは、各校・園の校長・教頭等を対象とした集合研修を行えるような大きな部屋(200名以上)が確保できず、入居は不可能と考えています。
⑤ 社会福祉協議会及びボランティアセンター	
⑥ 福祉用具プラザ北九州	
⑦ 市立教育センター	
⑧ 特別支援教育相談センター、発達障害センターなどの新設	外国人及びその子どもの為の教室(日本語教室、料理教室等)、夜間学校(読み書きそろばん等基礎中心の学校)
⑨	
⑩ 図書館(複数)	来年夏、近郊の旧九州厚生年金病院跡地等に新しい図書館が開館するため、新しい図書館のご利用をお願いします。
⑪ スポーツクラブ・ジム(複数)	商業機能に関しては、民間事業者の意見を聞きながら、検討していきます。
⑫ 映画館	
⑬ 全ての診療科目がそろったクリニック	
⑭ カルチャーセンター	
⑮ キッザニア(複数)	コムシティは天井高が3メートル程度しかなく、天井高などの関係で、整備は困難と考えています。
⑯ 中高年のための仕事センター(人材募集など)	今回、ハローワークを施設候補として誘致することにしており、職業紹介を求める市民の利便性につながると考えています。
⑰ 若者、ベンチャー企業、NPO法人、生涯学習団体等のための貸事務所と交流広場	人づくり支援機能や広域行政サービス機能の充実につながる施設の導入については、事業者のニーズを把握しながら、引き続き検討していきます。
⑱ 民間の事務所	
⑲ 地元企業を中心としたミュージアム、ショールーム	
⑳ ホームレスの方のための長期滞在施設	採光の関係により、居室系施設の整備は困難と考えています。

3. その他の意見

(1) 駐車場について	
① 駐車場への進入口がわかりにくいので、入りやすく、ぜひ改善してほしい。(複数)	コムシティの駐車場出入口の改善については、よりわかりやすく出入庫できるよう、運転者や歩行者の安全性や、国道3号への影響を考慮しながら、検討していきます。
② 駐車場の利用料金を見直して欲しい(低額又は無料)(複数)	コムシティに行政施設、公益的施設、商業施設など性格や運営主体が異なる施設が入居することから、駐車場料金や運営についても、必要な検討を行います。
③ 駐車場は有料のままとしてほしい。無料となったら黒崎二丁目も無料にしないで、困る。	
(2) 施設の改修に係ること	
① 犯罪予防のため、交番や監視カメラの設置をしてはどうか。	隣接するJR黒崎駅には、交番詰所があり、また、コムシティの建物及び敷地は、24時間警備を行うなど、安全対策に注力しています。再生後も安心してご利用いただけるよう、一層安全対策に努めます。
② 入口が暗いので、明るく大きな窓をつくり、入りやすい雰囲気にしてほしい。	採光や施設のイメージアップについては、費用対効果を勘案しながら、できる限り行っていきたいと考えています。
③ 夕焼け、夜景が綺麗な屋上を活用してはどうか。	環境に配慮した改修については、検討していきたいと考えています。
④ 自然エネルギーを活用した発電設備の設置や、屋上や壁面の緑化をしてはどうか。	
⑤ 商業棟周辺の通路の照明をLED化してはどうか。	
⑥ 工事については事故の無いよう、時間をかけてやってほしい。	できるだけ早期に再生していきたいと考えていますが、改修工事の際には、安全対策に万全を期します。

(3)その他の意見

<p>① 行政による街づくりには、民間企業の経営手法の導入が重要である。</p>	<p>建物内に、広域行政サービス機能を担う行政施設や民間が主体となる商業施設など、設置主体や運営主体が異なる施設が同居することから、持続的かつ責任ある管理運営体制の構築が必要と認識しており、しっかりとした体制が整えられるよう、十分検討していきます。</p>
<p>② 副都心におけるコムシティの役割として、特急等が停車するJR黒崎駅の駅ビルとしての利用を考えるとどうか。</p>	<p>コムシティはJR黒崎駅に隣接しており、駅と一体となって、副都心の駅前にふさわしいにぎわいづくりに努めていきます。</p>
<p>③ コムシティが人と人がつながるプラットフォームとなり、常に人が集い、にぎわうようにすべき。また、地域コミュニティにより、黒崎を仕事や子育てに安心できる街とし、コムシティはその象徴となるべきである。</p>	<p>コムシティが、多くの市民が訪れ、交流し、地域のにぎわいづくりに資するような施設となるよう、入居する施設や運営に十分配慮していきたいと考えています。</p>
<p>④ 黒崎商店街のにぎわいを継続させるため、月1回以上、イベント等の行事を協賛して開催してはどうか。</p>	<p>また、近隣の商業施設や商店街との連携についても検討していきます。</p>
<p>⑤ バスセンターに貸切バス用の停留所を確保してはどうか。</p>	<p>バスターミナルの所有者である西日本鉄道(株)に、ご提案を伝え、検討をお願いしていきたいと考えています。</p>
<p>⑥ バスセンターについて、旅行の出発点としての機能を強化してはどうか。また、明るい空間に改善してほしい。</p>	<p>なお、バスターミナルの環境改善については、施設利用者の快適性の向上を図るため、市と西日本鉄道が共同して、休憩所を設置し、11月1日から利用していただけるようにしました。</p>
<p>⑦ バスターミナルの排気ガスを調査し、改善策を西鉄と協議してはどうか。</p>	
<p>⑧ 従業員の自家用車による通勤乗り入れは禁止し、中心市街地に足を向かせるようにしてはどうか。</p>	<p>低炭素社会の取り組みの強化や中心市街地の回遊性の向上については、市を挙げて積極的に取り組んでいきたいと考えています。</p>
<p>⑨ 区役所の一部や保育所などは、黒崎二丁目地区に設置してほしい。</p>	<p>黒崎二丁目地区では、地元の再開発準備組合が事業計画を検討しており、市も可能な支援をしながら、再開発事業の進展を目指しています。</p> <p>なお、保育所の設置については、「元気発進！子どもプラン」(平成22～26年度)に基づき、保育所の不足する地域に民間保育所の新規開設を行うとしています。今後も地域の保育需要を勘案しながら、保育所の適正配置に取り組んでいきたいと考えています。</p>